

第 5 2 回 病 診 連 携 委 員 会 要 録

日 時	平成26年4月28日(月) 午後7時45分
場 所	浪速区医師会 会議室
出席者	浪速区医師会 : 8名 南 医 師 会 : 1名 城東区医師会 : 2名 愛染橋病院 : 2名 大野記念病院 : 2名 浪速生野病院 : 2名 四天王寺病院 : 1名 富 永 病 院 : 2名 大和中央病院 : 3名 育和会記念病院 : 2名 社会福祉協議会 : 1名 さくらんぼ : 1名 浪速区医師会事務局 : 1名

今回は、城東区医師会より参加があった。

議 題

1. 第 51 回 病 診 連 携 委 員 会 報 告 に つ い て

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

2. ブルーカード事例検討等報告について(四天王寺病院)

四天王寺病院より自院の紹介がなされ、現在の体制や状況が説明された。病床数は一般病床150床、療養病棟47床、合計197床で、一般病棟の看護体制は10:1、療養病棟は区分1である。紹介率は約4割で、その内訳は開業医から4割、病院から4割、関連施設から2割である。MRIに空き枠があり早期対応が可能なので、有効利用してほしいとのことであった。また道頓堀救急から診療要請があった際、ブルーカードのことを青色トリアージと呼んでいたとの報告があった。久保田議長より定例の消防との連携会議の際に、事実確認をするとのことであった。

3. 病 診 連 携 委 員 会 の ア ン ケ ー ト 結 果 に つ い て (資 料 2)

《 連 携 病 院 へ の 質 問 》

「浪速区医師会にメーリングリストを使った主治医決定システムがあることを知っているか、そしてかかりつけ医を探す際に困ることはないか？」

ほとんどすべての病院が主治医決定システムの存在を理解しており、少しずつ利用している状況であった。システムのことを知らない病院もあったが、浪速区外に情報が十分浸透していなかったことが原因と考えられ、今後のトータル医療ネットワークの広がりに合わせて周知されていくと思われた。かかりつけ医を見つけるための情報は、ホームページの医院紹介などを利用することが多いが、浪速区外では十分な情報を得にくいとの指摘があった。

《 診 療 所 へ の 質 問 》

「ブルーカードの広報の方法についてどのように考えるか？」

これまで通りの①病院、診療所での案内②他地区医師会員の委員会への招待③他地区のメーリングリストの活用④学会や講演会での発表⑤メディア戦略を継続することが最善であるとの意見であった。①についてはブルーカードを案内するパンフレット

トがあればさらに説明しやすいとの意見もあった。

《包括支援センターとケアマネへの質問》

浪速区医師会との連携に置いて望まれることはないか？

「医師会や医師に対する敷居が取り除けるように密に交流できる機会を増やしてほしい。」「多職種連携研修会は、医療と介護と行政のすべての人が顔を合わせ、討論できたよい研修会であったので、企画時から三者で打ち合わせるようにし今後も継続してほしい。」「地域包括支援センターの業務内容を知っていただき相互にうまく協力できる体制を作りたい。」などの医療と介護の垣根をなくす工夫を期待する意見が多かった。

4. 在宅医療連携等の取り組みについて（城東区医師会）

城東区医師会の在宅医療連携の取り組みが担当理事の池尻先生より紹介された。

城東区医師会では、主治医紹介システムを有し、対象をこれまでの区内の病院から周辺基幹病院に拡大させている。医師会主導で在宅医療を推進することにより会員の在宅医療に対する意識の向上や、医療と介護の連携・交流が深まっている。また行政との共同で区民に医療資源を記したマップを配布したが、4つの地域包括支援センターの担当エリア別に色分けして地域性を明瞭に強調し周知をはかった。また、歯科医師会員との連携推進のために在宅歯科診療専用紹介状を作成し、活用しているとのことであった。

5. ブルーカード登録内容と発行手順について

ブルーカード登録症例についての確認が久保田議長より行われた。精神疾患を主病名としているものや、重篤な精神疾患を有するものは現時点では対象外であることが確認された。また救急対応をすみやかに行う主旨からも、遠距離に住んでいる患者の登録は避けるように説明された。

6. 第3回トータル医療ネットワーク（4月12日〈土〉）の報告について

4月12日に行われた第3回トータル医療ネットワークの内容が久保田議長より報告された。大正病院の福本先生より、大病院から直接退院するのではなく中小病院を経由してから退院し診療所にかかるケースがあるので大病院と中小病院と診療所が患者情報を共有できるメーリングリストの在り方を考えていく必要があるとの貴重な提案があったことが報告された。久保田議長より東部エリアのまとまりが弱いので城東区医師会に積極的にトータル医療ネットワークに協力をしてほしいと要請された。

7. 高知医師会のブルーカードシステム視察について

高知医師会が、ブルーカード実務の視察目的で浪速区医師会へ来られたことが説明された。藤井寺市医師会がブルーカードシステム導入までの経緯を詳細に記録しているので、その流れに沿って説明したとのことであった。

8. その他

現時点でのブルーカードの登録件数は、浪速区460件、他地区101件の合計561件、現在までの使用状況は、浪速区609件、他地区30件の合計のべ639件、今月の新規件数は45件であったと事務局より報告があった。今月は新規件数が多い目であるが、ゴールデンウィークを控えた救急体制の確保のために提出されものと考えられた。